平成26年度当初予算　予算要求シート

整理番号	38 － 024	マスタープラン 3つの挑戦	子育て	マスタープラン 施策番号	3 － 4 － － －	局・課名	教育委員会事務局・学務課
区分	新規・拡充						

（単位　千円）

事業名	特別支援学校管理運営事業（学務課）
関連事業	

	平成24年度決算額	平成25年度予算額	平成26年度要求額
事業費	117,882	126,955	149,928
事業期間	H ～ H	全体事業費	

事業目的

市内の広範囲から支援学校に通う障害のある児童生徒が、安全に通学することを保障するとともに、保護者の負担軽減を図る。

今年度要求のポイント

バスには添乗員が乗務し、障害のある児童生徒の車内での安全確保を図っている。しかし、児童生徒が自傷・他傷行為、パニックなどを起こしたときや事故が起きた場合など1人の添乗員では対応できない。現在、添乗員を複数配置できているのは一部ルートのみである。
障害のある児童生徒を安全に送迎するため、全ルート添乗員2人体制を組める予算を要求する。

事業内容

百舌鳥支援学校及び上神谷支援学校の児童生徒についてはバスで、百舌鳥支援学校分校の児童生徒についてはタクシーで送迎を行う。
百舌鳥支援学校　　バス　10台
上神谷支援学校　　バス　11台
百舌鳥支援学校分校　タクシー　6台

主な要求内容

（単位：千円）

項目	25年度予算	26年度要求額	内容・積算等
バスの借上げ等	119,624	142,416	百舌鳥支援学校・上神谷支援学校
タクシーの借上げ等	7,331	7,512	百舌鳥支援学校分校
その他			
合計	126,955	149,928	

スケジュール（経過及び今後展開）

【経過（～25年度）】	【26年度】	【今後（27年度～）】
車内での児童生徒の安全確保のため、一部のコースで添乗員2人配置を実施(2人配置8台⇒10台)	車内での児童生徒の安全確保のため、全車に添乗員2人配置(2人配置10台⇒21台)	支援学校在籍者数を考慮しながら、事業を実施。

その他　特記事項